



鉄スクラップ

昨年サブプライムローンによる世界大不況の突入により7月のピークから11月の底値のまでの大暴落の後、相場は上げ下げを行なっている状態にあります。この暴落の後の相場の上げを誘発したのは中国で、日本にとっては、一息つけた状態になりました。この後、ウォン安に苦しんでいた韓国が、自国内の景気刺激策に息を吹き返し、マーケットインをしてきて、今現在は、韓国に相場が助けられている状態となっています。では以前は海外勢と三つ巴を演じていた、高炉・東京製鐵の動きはどうなっているかと申しますと、高炉は、自動車・電化製品関係の落ち込みがひどく、大幅な減産をしている上に、昨年の高値で決めていた主原料である鉄鉱石や原料炭の成約残分も多く、7月ごろまでは、スクラップの購入ができない状態にあります。東京製鐵はといいますと、やはり国内の景気対策があまりにも中途半端な為、(個人的には、短期的にかもしれませんが、公共事業で雇用と内需に刺激を与え、その間に世界景気が回復するまでの時間稼ぎをするのがいいのかと考えてはいるのですが・・・)建設も少なく、製品の販売量の減少からプライスリーダーに返り咲くには時間が懸かるかと思われま

す。だいぶ前にも書かせて頂いたのですが、状況的には仕方がないとはいえ、メーカーが海外に出ていった為、国内の空洞化が進み、技術までも海外に持っていかれた為、日本でしかできない技術での生き残りの道さえも閉ざされた、まさにそれが今回露呈した形となったのではないのでしょうか？

話はそれてしまいましたが、今現在のスクラップ価格を見ますと、昨年の7月までが異常値で、今現在の価格は安すぎるとお感じになられるかもしれませんが、まあまあ値段ではないかと私どもは考えております。ただ将来的には、間違いなく今現在より上る

ものと思われ、(個人的には今現在より、1.5倍程と予想しています)その時期は、早くて年内秋頃か、遅くとも次年度中には達するものと思われま

す。100年に1回と言われる今回の大不況は、又100年先に起こるやもしれません。そして今回の大不況は、パラダイムシフトの移行期間と言う人もいます。感覚的には、時代が大きく変わる気がします。今まで行なってきたもので変わるもの、変わらないものの変化量が好む好まざろうに関わらず大きいのではないかと気がします。リサイクルの仕方も変わる可能性を秘めているのではと言う気がしてなりません。リサイクルからの観点からいけば、チャンスの時とも言えるのではないのでしょうか？弊社と致しましても、このチャンス是非つかみたいと考えています。

変わらないものと言えば、鉄はやはり鉄にリサイクル、これだけはいつの時代でも不変のものの一つではないのでしょうか？

家電リサイクル法の改正

4月1日より家電リサイクル法の一部改正が行われ、新たに**液晶式テレビ、プラズマ式テレビ、衣類乾燥機**が追加になりました。弊社と致しましては、それ以前の家電4品目(冷蔵庫・テレビ・洗濯機・エアコン)同様、取り扱いはできませんので、適正ルートに乗せて頂きますようお願い申し上げます。今後は、前項にも触れたように、リサイクルの仕方が変わると記載したのですが、今後家電リサイクル対象品目は、増えることは容易に想像され、減ることは無いということです。これも間違いの無い一つの事とも言えます。

巷に増えた外国人がオーナーの「エアコン買います」の文字、中古品として海外に出すと触れ込みですが、買う時はそのままの形で、積んである山は潰れた物ばかり・・・フロンガスの行方は容易に想像がつきます。ただ適正に中古品として輸出されている業者の方もいますので、それは誤解の無いようよろしく御願ひ致します。あくまでも、怪しい業者が多いのでは？の根拠は、品物の保管状態で一目で判るからです。中古品として売るなら、大事な商品潰した状態のように粗末に扱わないからです。皆様も、是非適正処理業者に出す事をお勧め致します。

コラム

今年は、北海道でも夏日が出るなど、異常気象の兆候が早くも出始めています。地球温暖化の影響が出ていないはずにはられません。今年の夏は、暑くなりそうな予感がします。現場を行なうものには辛い時期が来ました。